



2015年3月期 第2四半期 決算補足資料

2014年11月19日(水)

トピー工業株式会社

© 2014 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.



2014年度(2015年3月期) 第2四半期決算について

決算概要



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

売上高は前年同期比1.9%の増収。

営業利益は前年同期比31.7%の増益、営業利益率は0.4ポイント増の1.9%。

(単位:億円 < >:%)

	2013年度 2Q累計(A)	2014年度 2Q累計予想(B)※	2014年度 2Q累計(C)	前年同期比 (C-A)	予想対比 (C-B)
売上高	1,113	1,170	1,134	+21	△36
営業利益 <営業利益率>	17 <1.5>	21 <1.8>	22 <1.9>	+5 <+0.4>	+1 <+0.1>
経常利益	12	16	16	+4	+0
当期純利益	4	7	9	+5	+2
配当(円)	0.0	1.0	1.0	+1.0	0.0

※2014年5月9日公表値

2014年度第2四半期の経営環境



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

2013年度 第2四半期との比較

◆外部環境

○ー×:環境・影響の評価

海外経済	ー	米国:緩やかな回復の継続 欧州:持ち直しの動き
	ー	中国及び東南アジア:経済の不透明感や政情不安
日本経済	ー	政府の経済対策による緩やかな回復の期待
	×	消費税増税前の駆け込み需要の反動

◆当社グループ

鉄鋼事業	○	メタルスプレッドの改善
	×	電力料金、燃料代の高騰
自動車・産業機械部品事業	○	ホイール:国内、海外ともにスチールホイールは堅調
	ー	SGOR:鉚山機械向け需要は依然低迷
	×	履板・履帯:中国・東南アジアの需要減少、競争激化

2014年度の取組み



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

厳しい経営環境が続く中、引き続き収益・コスト改善を推進する。海外・国内の大型投資は立ち上げ時期にあたり着実に計画を進める。また、事業の点検、見直しについても継続して実施していく。

- ・グループ全体で省エネキャンペーン「エネ活2020」の推進
- ・スチール収益改善委員会でグループを挙げて収益力の改善を検討、推進
- ・中国履帯2社の一体運営による業務の効率化と組織のスリム化
- ・トピー パリンダ マニファクチャリング インドネシア：2014年4月稼働開始
- ・トピー・エムダブリュ・マニファクチャリング・メキシコ：2015年4月稼働開始予定
- ・豊橋製造所新製鋼工場：2015年4月稼働開始予定

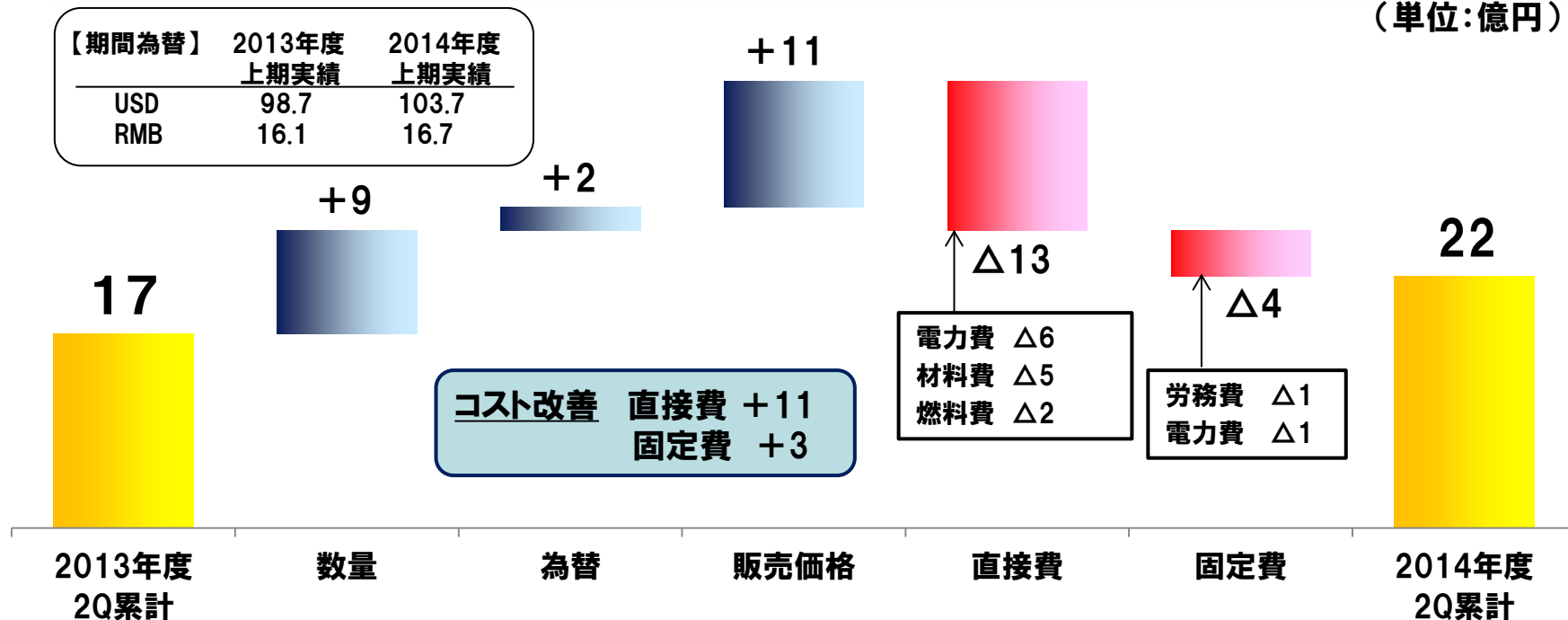
連結 営業利益増減要因



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

鉄鋼事業のメタルスプレッドの改善、スチールホイールの堅調な販売に加えて、電力をはじめとするコストアップに対して改善努力を積み上げた結果、5億円の増益。

(単位:億円)



セグメント別業績



流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

鉄鋼事業は増益となるものの、自動車・産機事業が増収減益。

(単位:億円)

	2013年度2Q累計(A)		2014年度2Q累計(B)		増 減(B)-(A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄 鋼 事 業	352	6	363	14	+11	+8
自 動 車 ・ 産 業 機 械 部 品 事 業	693	27	700	24	+7	△3
そ の 他	68	6	71	5	+3	△1
消 去	—	△22	—	△21	—	+1
連 結 計	1,113	17	1,134	22	+21	+5

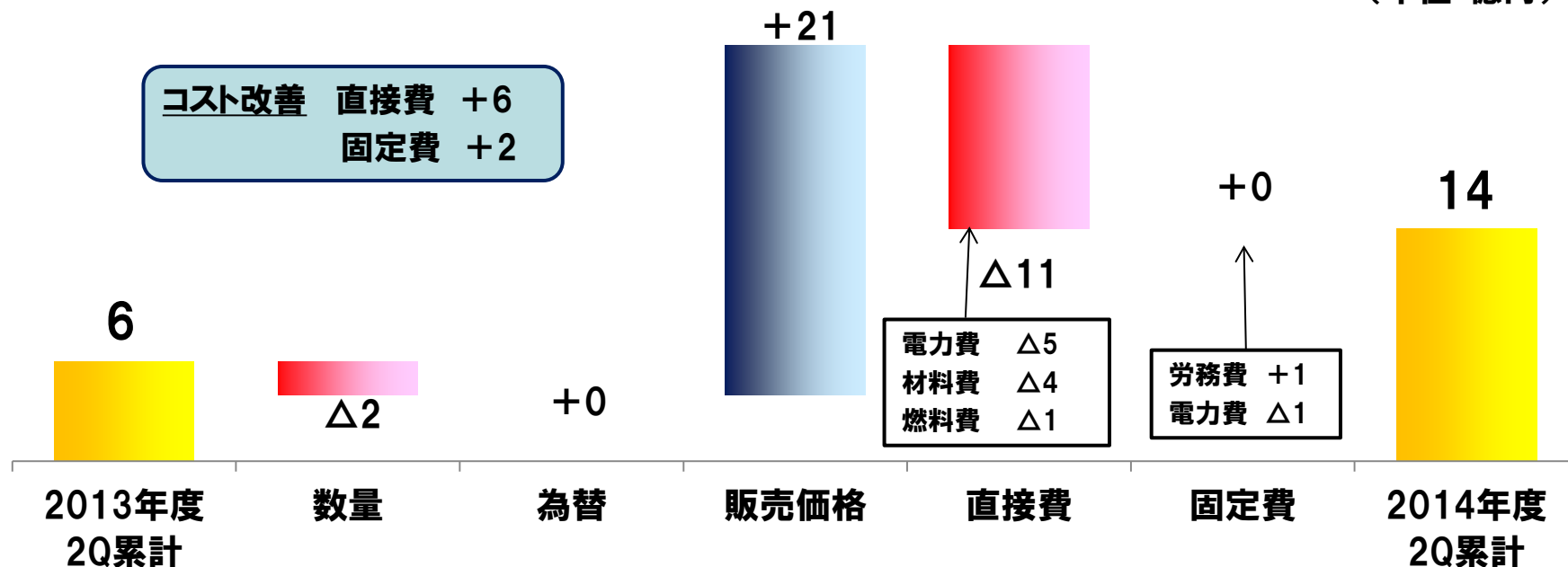
鉄鋼事業 営業利益増減要因



流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

電力費、燃料費等のコストアップがあったものの、コスト改善の積み上げやメタルスプレッドの改善によって8億円の増益。

(単位:億円)

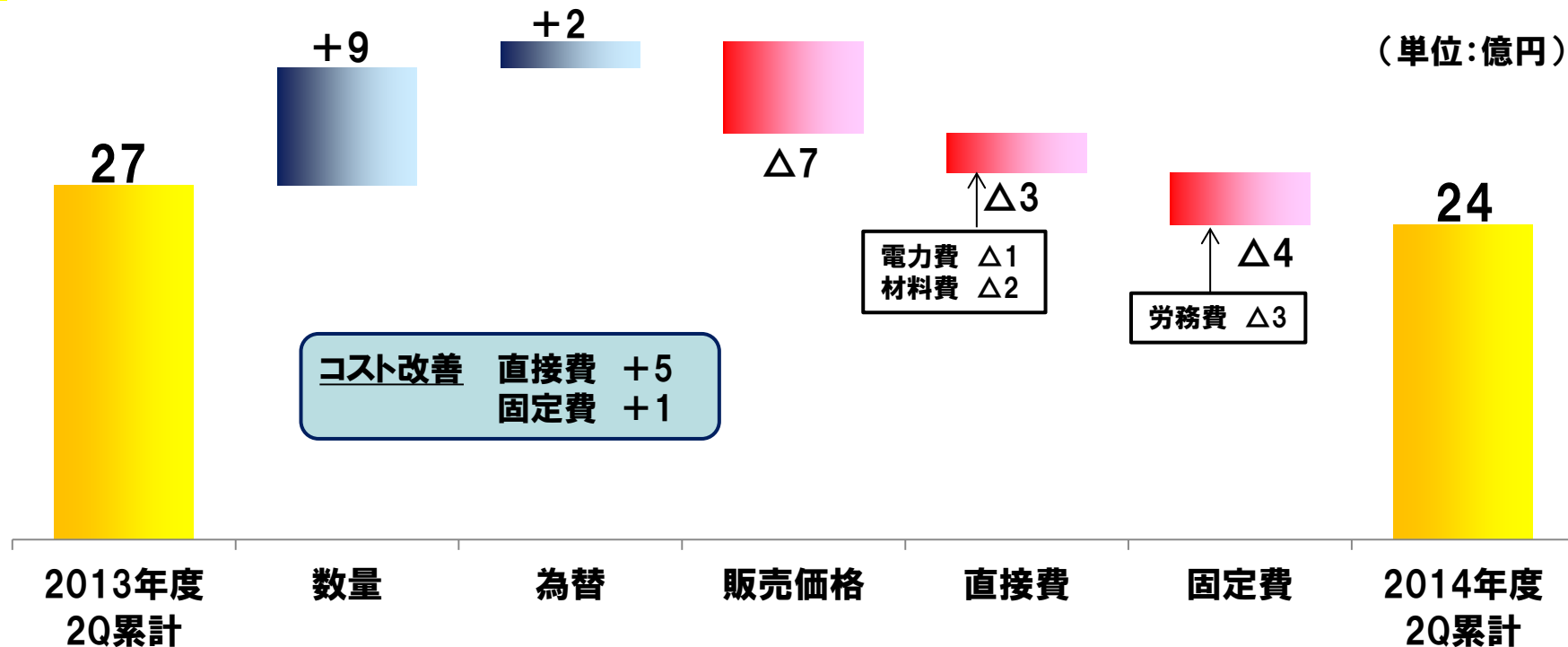


自動車・産業機械部品事業 営業利益増減要因



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

ホイールの数量増加はあったものの、履板・履帯の価格競争により3億円の減益。



地域別売上高比率



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

前年同期に比べ、変動は小さい。

上段:実績値 下段:合計売上高に対する比率 (単位:億円)

	日 本	米 国	中 国	そ の 他	合 計
鉄 鋼 事 業	341 30.0%	3 0.3%	0 0.0%	19 1.7%	363 32.0%
自 動 車 ・ 産 業 機 械 部 品 事 業	476 42.0%	108 9.5%	64 5.6%	52 4.6%	700 61.7%
そ の 他	70 6.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	71 6.3%
合 計	886 78.2%	112 9.9%	64 5.6%	72 6.3%	1,134 100.0%

<参考>2013年度第2四半期

合 計	856 76.9%	116 10.4%	66 5.9%	75 6.8%	1,113 100.0%
-----	--------------	--------------	------------	------------	-----------------

上期決算 当初予想(5/9公表) 対比



流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

売上高は当初予想比3.1%の減収。

営業利益は当初予想比4.5%の増益、営業利益率は0.1ポイント増の1.9%。

(単位:億円 < >:%)

	2013年度 2Q累計(A)	2014年度 2Q累計予想(B)※	2014年度 2Q累計(C)	前年同期比 (C-A)	予想対比 (C-B)
売上高	1,113	1,170	1,134	+21	△36
営業利益 < 営業利益率 >	17 <1.5>	21 <1.8>	22 <1.9>	+5 <+0.4>	+1 <+0.1>
経常利益	12	16	16	+4	+0
当期純利益	4	7	9	+5	+2
配当(円)	0.0	1.0	1.0	+1.0	0.0

※2014年5月9日公表値

2014年度第2四半期の経営環境



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

当初予想(5/9公表)との比較

◆外部環境

○ー×:環境・影響の評価

海外経済	ー	米国:緩やかな回復が継続
	ー	中国及び東南アジア:経済の不透明感や政情不安
日本経済	ー	政府の経済対策による緩やかな回復
	ー	消費税増税前の駆け込み需要の反動

◆当社グループ

鉄鋼事業	ー	販売:メタルスプレッドの改善、H形鋼・社内材の減少
	ー	電力料金・燃料代の高騰
自動車・産業機械部品事業	○	ホイール:乗用車、トラック用の駆け込み需要の反動は想定より軽微
	ー	SGOR:鉚山機械向け需要は依然低迷
	○	国内建機:公共投資による下支えで引き続き堅調
	×	中国建機:不動産投資の減速等により需要減少

連結 営業利益増減要因

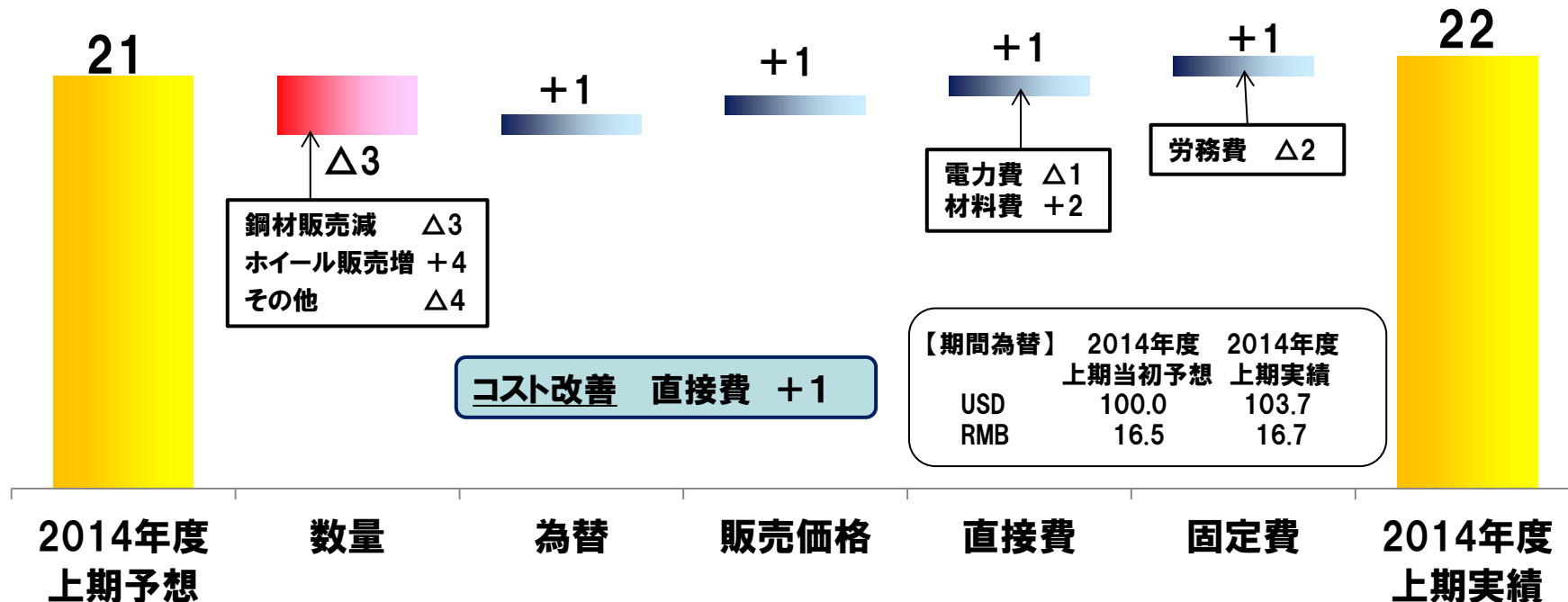


流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

数量減はあったもののコスト改善努力の結果、増益。

(単位:億円)



通期業績予想



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

通期業績予想は当初予想(5/9公表)から変更なし。

(単位:億円 < >:%)

	2013年度 通期実績(A)	2014年度 通期当初予想(B)※	前年度対比 (B-A)
売上高	2,347	2,440	+93
営業利益 < 営業利益率 >	53 <2.3>	66 <2.7>	+13 <+0.4>
経常利益	45	57	+12
当期純利益	19	36	+17
配当 (円)	2.0	4.0	+2.0

※2014年5月9日公表値



中期連結経営計画 「Growth & Change 2015」 の進捗状況について

グローバルでの成長と高収益体質への変革

基本方針

■海外事業の量的成長

- ・成長する新興国市場への対応
- ・グローバルレベルで勝ち抜く事業基盤の実現

■国内事業の質的成長

- ・強靱なコスト競争力の実現
- ・競争力の高い商品、卓越した技術を武器に高付加価値品を拡大
- ・海外展開を支えるマザー工場としての機能強化

重点テーマ

■海外事業の拡充（量的成長）

1. グローバルシェアの維持・拡大
2. グローバル供給体制の強化

■国内事業基盤の強化（質的変革）

1. 製鋼設備の新鋭化による製造コストの抜本的改善
2. 生産性向上「つくりの変革」・原価低減活動の深化
3. 戦略・高付加価値製品の開発と拡販

■経営の高度化

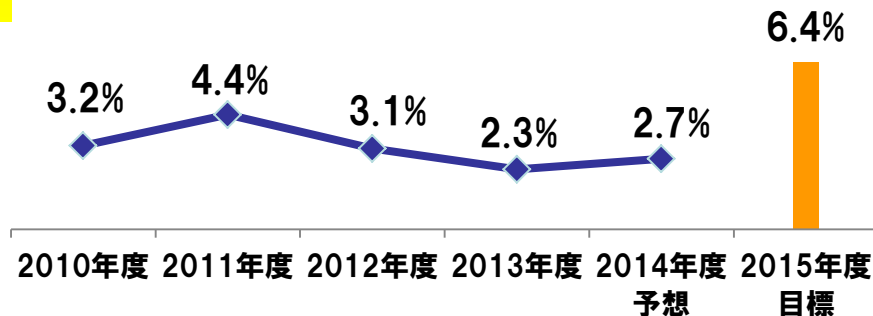
1. 業務プロセスの改革
2. グローバルでのグループ経営の高度化
3. グローバルで戦える技術力の強化
4. リスクマネジメントシステムの深化

数値目標推移

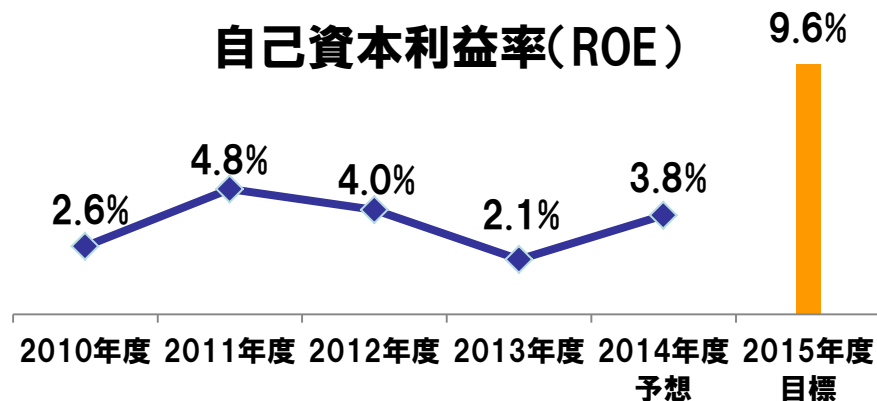


流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

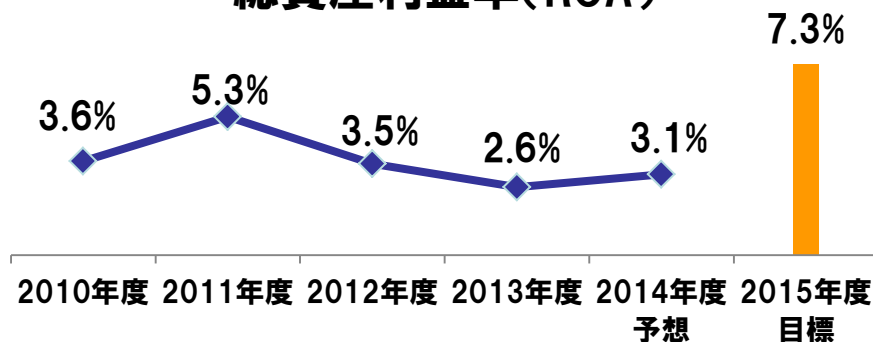
売上高営業利益率



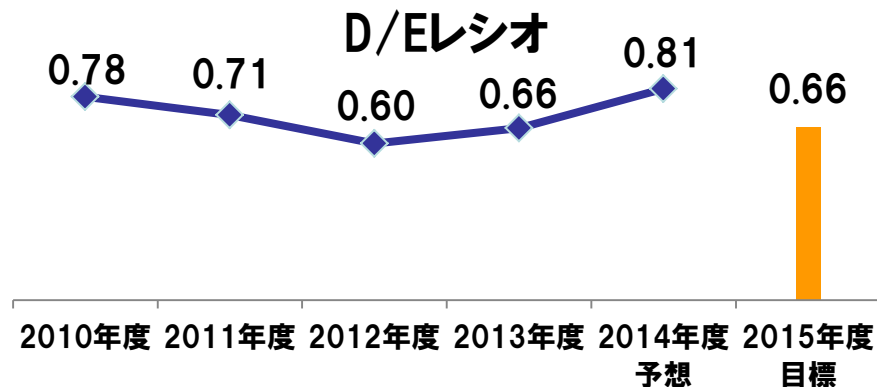
自己資本利益率(ROE)



総資産利益率(ROA)



D/Eレシオ



設備投資額(支払ベース)



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

中期連結経営計画の実行により投資額が増加、主な投資内容は新製鋼工場と海外拠点関連。

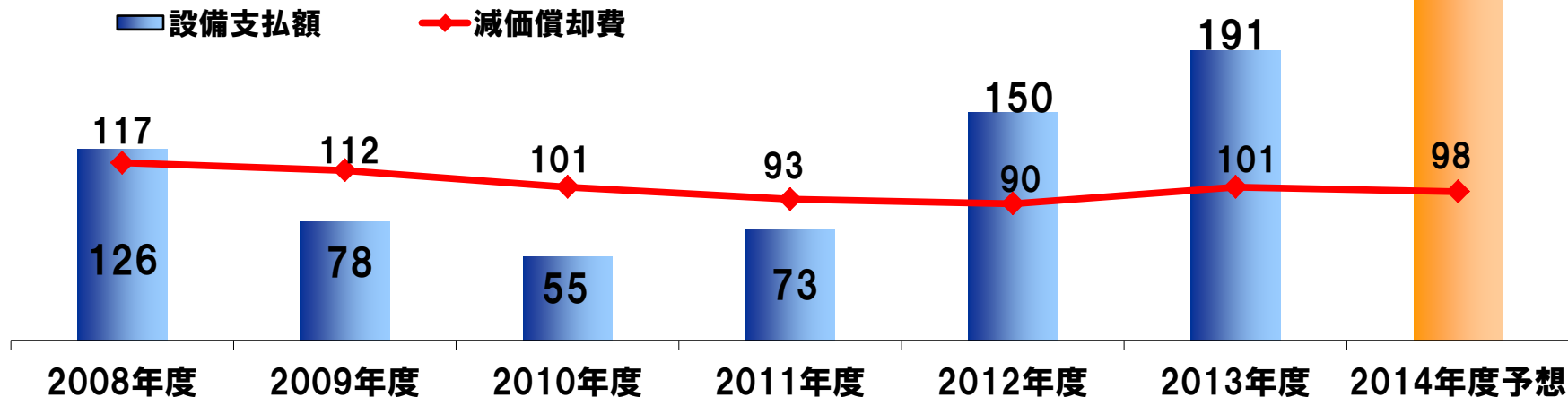
■2013年度 主な設備支払項目

豊橋製造所 新製鋼工場	65億円
トビー履帯(中国)有限公司	12億円
トビー バリンダ マニファクチャリング インドネシア	38億円
トビー・MW・マニファクチャリング・メキシコ	2億円

■2014年度 主な設備支払項目

豊橋製造所 新製鋼工場	203億円
トビー・MW・マニファクチャリング・メキシコ	22億円
トビー バリンダ マニファクチャリング インドネシア	20億円

(単位:億円)

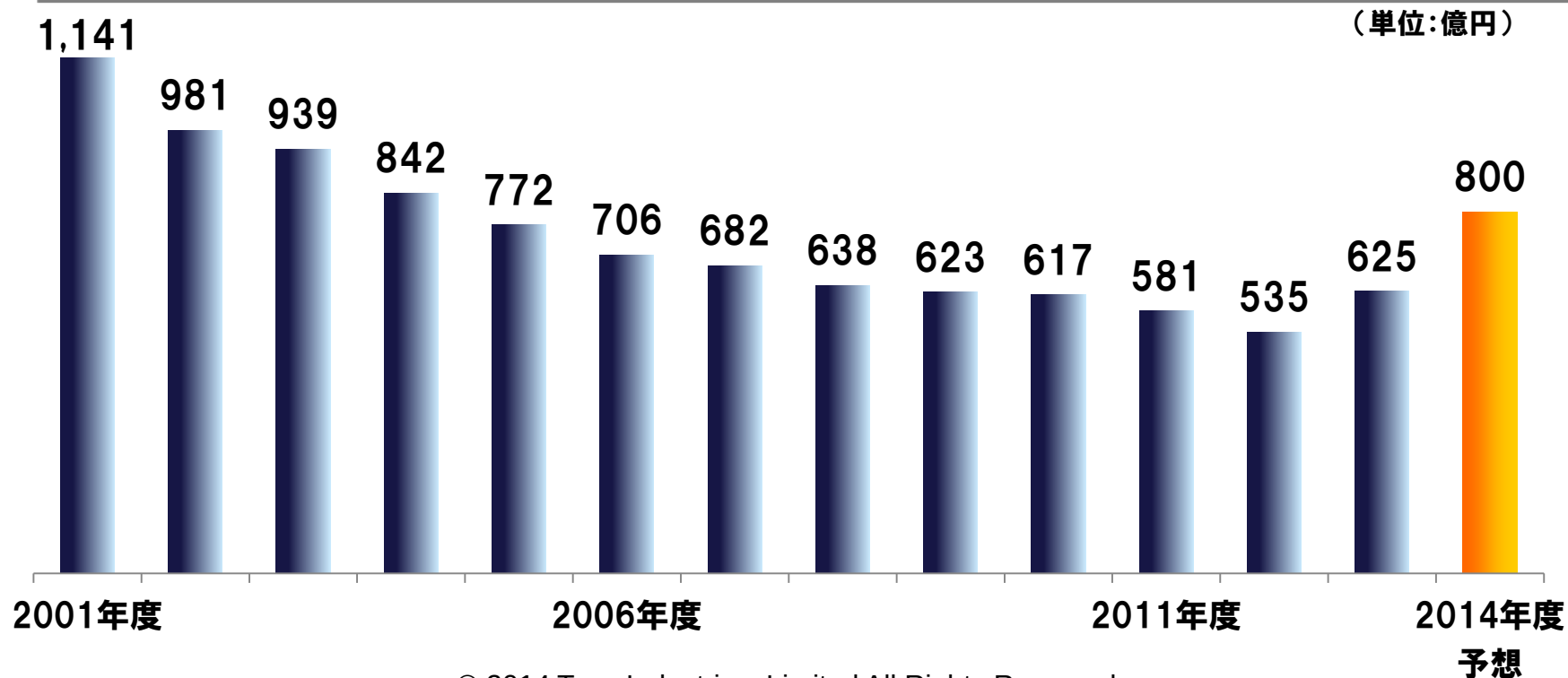


有利子負債



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

2014年度は800億円(前期比+175億円)を予定。





本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。

© 2014Topy Industries, Limited All Rights Reserved.